卒業研究 企画書

承認

作成日：令和２年９月２４日

|  |  |
| --- | --- |
| **チーム名** | 本の虫 |

|  |  |
| --- | --- |
| **学科クラス** | 情報誌システム専攻科３A |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **メンバ名** | 津上千尋 | 竹下寛大 | 尾下瑞季 | 曲里祥太朗 |
| 城田大輔 |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **研究企画名** | My Library（マイラブ） |

|  |
| --- |
| **現状分析・課題設定** |
| **現状分析**  ★既存のレビューサイトとの違いは、リードリストに注目している点です  自分の買った本の履歴管理と本のレビューサイトを兼用しているアプリが存在しない  本自体にコメントや読んだ感想のタグ（スタンプ）を付けるものがない  愛読家に焦点を当てているSNSアプリがない  **課題設定**  ・目的に応じた本を紹介しているものがwebのブログや個人サイトが多く、  アプリで簡単に紹介できるものがない  ・本を通じて、ユーザー同士が繋がるSNSアプリがない  ・感情的な評価をスタンプを使って簡単に付けれるアプリがない  ・複数の本をまとめて紹介できるアプリがない  ・10代〜30代の読書愛好家の人を基本ターゲットとする。  ・ユーザーがアプリを広めていくようにする |

|  |
| --- |
| **基本方針（企画の目的と全体像）** |
| **企画の目的**  **「読書家の読書歴を共有できるSNS」**  ・読書履歴の蓄積  ・レビューの蓄積  ・レビューの参照  ・リードリストの蓄積  ・リードリストの参照  ・読書履歴の参照  ・レビューに対してのコメント蓄積・参照  ・リードリストに対してのコメント蓄積・参照  ・Twitterを用いたユーザー数の拡大  **ランキング機能について**  リードリストのいいね数による月間ランキング top10  リードリストのスタンプ数による月間ランキング top10  **本の登録の流れ**  バーコードからISBNコードを取得  ↓  Fire Storeに同じISBNコードの本が保存されているか確認し、  保存されていない場合openBDから本の情報は取得、Fire Storeに保存する。  ↓  Fire StoreにISBNコードを保存  **アプリ内の流れ**  自分が読んだ本の履歴を登録する  ↓  本のレビューを書く  ↓  オススメのリードリストの作成  ↓  リードリストの共有  （本の詳細画面でその本が含まれているオススメのリードリストの複数（三個程度）表示など）  ランキングによって広まる  ↓  リードリストやレビューに評価がつく  ↓  リードリスト&レビュー作成意欲向上  新規本の購入意欲向上  **アプリの利用を促進する流れ**  自分が読んだ本の履歴を登録する  ↓  本のレビューを書く  ↓  Twitterにアプリ名のタグとアプリインストール先のURLがついた本のレビューが流れる  ↓  Twitterを通じて多くの人の目に留まる  ↓  アプリをインストールする  ↓  アプリを使う  **全体像（実装機能）**  ★⑴自分が買った本をバーコード読み取りで記録していける  ★⑵Twitterとの連携  ★⑶本について、高評価・低評価（押す方式）、読んだ感想のタグ（感動や面白いなど  　（押す方式））、コメントの3段階評価をできるようにする  　⑷本の表紙画像を読み取ることで、本を検索できる  ★⑸本を検索して、その本の評価を見ることができる  　⑹フォロー機能（お気に入り機能）を使って個人の購入履歴やレビューが見れる  ★⑺履歴の非表示機能  　⑻ブロック機能（できれば）  　⑼登録した作者の新着本が出たら通知が来る  ★⑽自分が買った本の履歴がみれる  ★11ジャンル機能  ★12ネタバレレビューを非表示にする機能  ★13リードリスト機能  ★14ランキング機能  ⚠️★←必須機能 |

|  |
| --- |
| **アプリ概要** |
| ●機能一覧   |  |  | | --- | --- | | 本の履歴の管理 | 自分が登録した本の一覧が観れる | | バーコード読み取り | 本のバーコードから本の詳細を登録できる | | 評価・コメント機能 | 高評価・低評価をボタン一つで付けれる  読んだ感想をタグ方式で簡単に付けれる  読んだ感想をコメントとして残せる | | 検索機能 | 本の名前から検索できる　ジャンルからでも検索できる | | ログイン機能 | ユーザー名・パスワードによるログイン機能 | | お気に入り機能 | ユーザー・本をお気に入り登録して一覧で見ることができる | | 非表示機能 | ネタバレレビューを非表示にする機能 | | いいね機能 | レビューにいいねが付けれる | | リードリスト機能 | リードリスト名をつけて本を複数登録する | | ランキング機能 | ランキングを表示する機能 | | Twitter連携 | Twitterと連携する機能 |   ●技術一覧  ML Kit  openBD  ●実行環境  Android端末  ●使用言語・環境  ・Java  ・Fire base（Fire Store）  ・Android Studio  ・eclipse |

|  |
| --- |
| **期待する効果** |
| **主効果**  **・自分の本を読んだ経験が他人の役に立つ**  ・自分の読書履歴、レビューが蓄積される  ・ユーザーは自身のリードリストに反応がもらえることで承認欲求を満たすことが出来る  ・アプリ内で簡単に目的にあった本を探せる  ・自分が読む好みと似ている人の履歴もみれるので、安心して購入（読）できる  ・同じ本を読む人たちとコメント欄で交流ができ、その本に対する考察や理解が深まる  ・他者のレビューやリードリストが購入（読）の契機になる  **副産物効果**  ・意見交換による購読意欲の活性化  ・ユーザーが自身の所持している本をリードリストという形で管理することが出来る  ・感情スタンプによる本の感想の感情の共有  ・気になる本のレビューが簡単に見れる  ・バーコード認証で簡単に本の情報を登録できて楽  ・本をお気に入りできるので買おうと思った本をすぐ見れる  **他のアプリにないリードリスト機能がもたらす効果の流れ**  リードリストを作成する  ↓  他ユーザーのリードリストをみる  ↓  **例１：「javaを勉強する為に利用した本」というリードリストで、**  **javaを勉強しようとしているユーザーの役にたつ**  **例２：「私が感動した本」というリードリストで、そのリードリストの中に自分が感動した本が含まれていれば、**  **自分が感動する本を買いたい時に、そのリードリストに入っている他の本を参考にできる**  ↓  リードリストに反応をつける（いいね機能）  ↓  自分のリードリストの反応がみれる（承認欲求や達成感を満たせる）  ↓  リードリスト作成意欲の向上  **リードリストの作成の流れ**  リードリストの名前と説明を記入  ↓  本棚の本の一覧が表示されるのでその中からリードリストに入れる本を選択  ↓  リードリスト作成完了と共にTwitterに連携しているアカウントは投稿するかのアラート  　　　　　　　　　　　↓（投稿を選択した場合）  Twitterにアプリ名のタグとアプリインストール先のURLをつけて  リードリストの内容を投稿 |

|  |
| --- |
| **システム構成図** |
|  |

|  |
| --- |
| **スケジュール** |
| **計１５９コマ**  ４２コマ　設計書作成  ６４コマ　開発  １１コマ　展示会準備  ４２コマ　プレゼン準備＋予備日  **アジャイル開発を目標とし、予定より前倒しで進めていくことを心がける**  **設計と開発の割合**  設計２５％  技術学習２５％  開発５０％（試験期間も含む）  **設計書**  ・機能設計書２名（津上千尋、尾下瑞季）  ・画面設計書２名（城田大輔、曲里祥太朗）  ・DB設計書＆DB環境構築１名（竹下寛大）  **開発**  ・FireStore＆Fire base関係１名（津上千尋）  ・フロントエンド＆デザイン２名（曲里祥太朗、城田大輔）  ・バックエンド２名（竹下寛大、尾下瑞季） |